

だいすき、おかあさん

宮田 紗彩

「おかあさん、かたもみしてあげる。」

わたしがいうと、

「うれしい、ありがとう。」

といつて、おかあさんはせんたくものをたたむのをやめます。

かたもみしていると、おかあさんは

「ああ、きもちいい。さあちゃんじょうず。」

と、ほめてくれます。でも、もしかしたら、わたしのちいさな
と、よわいちからでは、あまりきもちよくないのかもしれない
ん。それでも、わたしはがんばります。かたもみをしているあ
いだに、おかあさんはなんども、ありがとうといつてくれるの
で、やるきがでてくるからです。かたもみがつかれたらあしも
みをして、あしもみがつかれたらじぶんのあしでおかあさん
のあしをふみます。

「もういいよ。きもちよかった。ありがとう。」

と、おかあさんにいわれたころには、くたくたになります。

でも、そのあと、おかあさんがムギューとしてくれます。お
かあさんのムギューはとてもきもちよくて、ながいムギュー
のときにはそのままねむりたくなるくらいです。

おかあさんへのありがとうで、かたもみをしたのに、わたし
がありがとうといつてもらつてうれしくなります。

そんなときは、おたがいにありがとうといいあつて、さいご
にふたりでわらいます。

わたしは、これからもおかあさんのかたもみをつげます。
そのうちにいまよりもつてがおおきくなって、ちからも
つよくなっているとおもいます。

おかあさん、もつともつときもちよくしてあげるからね。
いつも、ありがとう。